

【令和6年 第7回大山町教育委員会 議事録】

日時 : 令和6年6月18日(火) 午後1時30分～
場所 : 名和公民館 第1会議室
出席委員 : 門脇明子、向陽寛孝、兜山洋美、山本健一
欠席委員 : なし
教育長 : 鷺見寛幸
その他の出席者 : 教育次長(赤路)、幼児・学校教育課長(井上)、社会教育課長(西尾)、
: 幼児・学校教育参事(浦木) 学校教育担当者(中井)
参観人 : 0人

日 程

1. 開会宣言

教育長

ただいまから第7回大山町教育委員会を開会します。日程については、配布資料のとおりです。

2. 議事日程の報告

教育長

会議時間については、午後1時30分から終了目標を午後2時30分とします。

日程第1

会議時間の決定

自 午後1時30分 至 午後2時30分

日程第2

教育長報告並びに連絡事項

6月1～6月17日までの報告事項、今後の予定について説明(下記は主な内容)

教育長

6月1日、襄陽郡から6名の方が来庁され、たいまつ行列に参加されました。

6月4日、本会議が始まりました。

6月6日、テメキュラ交流30周年記念式典があり、記念パーティーが行われました。

6月13日、14日、一般質問がありました。吉原議員から大山町の学校教育を問うという質問の中で、5年先を見据えた学校の統廃合や学校教育の在り方も議論していくべきではないかという質問がありました。小中学校のみならず老朽化した大山保育所など保育所も含め、今後の総合教育会議や定例教育委員会で話し合っていきたいと答えました。また、西本議員から子ども達健康状態や運動能力はについて質問の中で、子ども達の健康状態で一番懸念されることは何かという質問がありました。大山町教育委員会として懸念しているのは、視力の低下です。GIGAスール構想で学校でもタブレットを使用する機会が増えておりますし、学校だけでなく、情報機器の普及により、家庭でもメディアに触れる機会が増えており、使用するときの環境や姿勢など、目の健康に着目した指導を行っていく必要があると感じております。各校では保小中で連携して、中学校のテスト期間に「ノーメディアデイ」を設け取り組んでいます。また、児童・生徒にも健康に興味や関心を持たせ、自己管理能力の育成を図る教育も進めていきたいと考えておりますと答えました。

今後の予定として、

6月24日、保育士研修（新任4名）が行われます。

6月30日、大山カエルサミットが行われます。入江聖奈さんが来庁され、大山山頂に住むカエルの観察をした後、パネルディスカッションを行います。

皆さんからご意見ご感想があればお願いします

委員

襄陽郡の皆さんとの交流会に参加しましたが非常に良い会でした。

委員

保護者の方から、以前にタブレットの持ちかえりについてアンケートがありましたが、その後、持ち帰りはどうなっているのかと質問をうけました。

次長

教育委員会では、タブレットを家庭に持ち帰る推奨を行っておりますが、いろいろな家庭環境がありタブレットの持ち帰りが進んでいない状況です。通信環境がない家庭にはルーターの貸出を準備しています。

委員

わかりました。保護者の方から宿題の量は担任の先生の判断ですかという質問もあり

ました。

次長

担任の判断です。

教育長

宿題は担任の判断ですが、子どもによって宿題にかかる時間が違うと思いますので、宿題が多いようなら担任の先生に相談してもらうのが一番です。学校のタブレットの持ち帰りですが、今、子ども達が使っているタブレットには有料の学習ソフトを入れています。家庭学習で使っていただけるようタブレットの持ち帰りを推奨していますが、持ち帰った時に壊してしまう等の懸念があります。学校と連携しながら貸し出せる支援をしていきたいと思います。

3. その他

・教科書採択について

4. 次回の開催日程

令和6年7月29日 午前9時30分～

5. 閉会宣言

午後2時00分